

## 新会長挨拶



# 次の60年に向けて！ 「確かな継承・ バランスの取れた改革」

令和元年度育友会長 こばやし ひろし 小林 宏

ご父母・保護者の皆様におかれましては、日頃より育友会活動にご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。この度、令和元年度育友会会長に就任いたしました小林宏と申します。育友会は139年の歴史を持つ専修大学の一部（昼間部）に在学する学生のご父母・保護者の会として、昭和33年に産声を上げ、昨年度60周年という節目の時を迎えることができました。

61年目になる今年、改めて専修大学育友会が産声を上げた当時の思いに立ち返り、育友会活動を今後60年続けていくためには、今までの伝統の中で何を大切にしていくなすべきか、そして時代の変遷の中で何を变えていくなすべきか。全国の支部、大学とのコミュニケーションの中で、本部として考察を重ねながら、今後の育友会活動を揺るぎないものにするためにも、皆さまのご協力とご理解を支えに、活動基盤をより盤石に整えていく一年にして行きたいと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、いま私の挨拶を読まれている方の中でも、育友会って何をしているの？と思われる方が多数おいでになるのではないかと。誌面をお借りして、育友会活動の一端をご紹介します。

まず初めに、会員の皆さまのより円滑なコミュニケーションを図るために、定期総会（年1回）、幹事会（年4回）、常任役員会（年10回）等会議の開催。学生の在学中の創造的な取り組みに対する行動や成

果を表彰する「育友会奨励賞」。大学、学生とご父母・保護者をつなぐ情報誌、会報『育友』の編集発行。学生たちのスポーツでの活躍を応援する「スポーツ応援」。鳳祭期間中に出店する「お休み処・育友」。昨今の就職状況などを理解していただく「就職懇談会」など、さまざまな委員会活動を行っております。

そして、7月から9月にかけて全国67支部63会場で開催される、育友会最大の事業である「支部懇談会」。大学の教職員の方々が各支部に赴き、学生生活・学業・就職活動などについて説明を行います。私も本部役員も一部の支部に伺い、本部の活動状況を伝えるとともに、支部で抱えている問題・ご意見などを伺います。また海外留学、資格試験、単位取得等について個別に大学の先生方にご相談いただける「個人面談」も設けております。大学に対する疑問や不安を解消していただけるよい機会ですので、是非とも積極的にご参加いただければと思います。

最後になりますが、昭和～平成～令和と育友会の襷をつなぐ中、オール専修の一員として、大学が掲げる21世紀ビジョン「社会知性の開発」その実現に向けて、全国17,000人の育友会会員の皆さまとともに、大学と歩調を合わせ、大学で学ぶ学生たちのために、時代の声に応える育友会としてさまざまな活動に取り組んでいく所存です。改めまして、一年間皆さまのご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。